

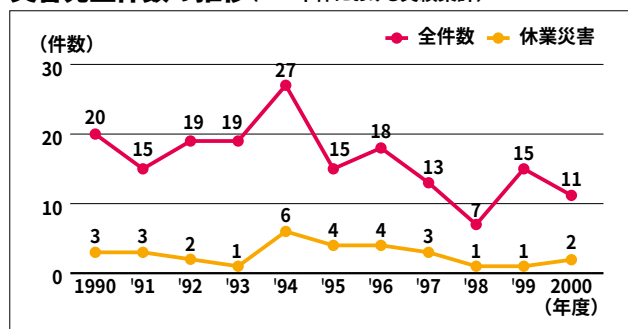
安全衛生

30

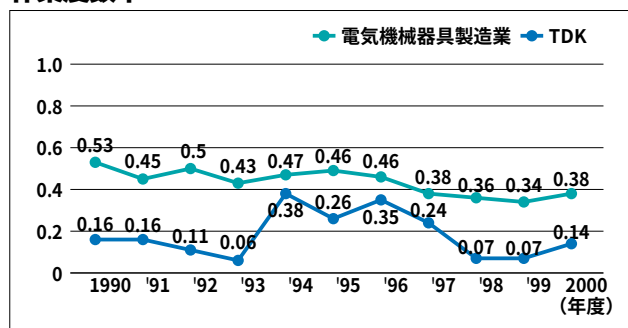
災害発生状況の推移

TDKにおける労働災害発生状況は、下図のとおり推移しております。労働災害の最近の傾向としては、機械などによる挟まれ災害、巻き込まれ災害など生産現場での労働災害は減少傾向にあります。一方で駐車場や構内道路での転倒など生産現場以外での労働災害が発生するなど、労働災害の形態が多様化しております。

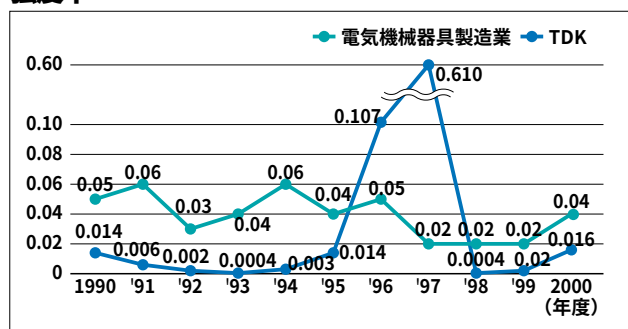
災害発生件数の推移 (TDK本体における実績集計)



休業度数率



強度率



主な安全衛生活動

各事業所では、毎月の「Sの日点検」や、年2回の安全衛生自己診断を実施し、職場の改善を促す仕組みとなっております。また、労働災害の発生状況に応じ、随時講習会を行なうなど、職場での安全意識の向上に努めております。また、秋田地区では冬道体験講習会を警察署の指導のもと、1月から2月にかけて毎年開催。スラローム、急制動、衝突体験などの研修内容は参加者から好評を得ています。



有材溶剤取扱講習会



冬道体験講習会

OHSMSについて

TDKは、労働災害のリスクを一層低減させるためには、労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）の導入が有効であると考えています。TDKは2000年7月にOHSMS導入を決定。OHSAS18001※に準拠した、全社共通のシステム構築を行ないました。2000年度はOHSMS導入教育の実施方法、OHSMSの重要な構成要素である法的要求事項の特定手法、リスクアセスメントの評価基準などの作成、予行を行ないました。今後はマニュアルの作成、規程類の整備、OHSMSの導入を円滑に行なうための各種教育を行なう予定です。

※ Occupational Health and Safety Assessment Series